

平成 21 年 10 月 30 日

各位

会社名 日本曹達株式会社
代表社名 代表取締役社長 杵 渕 裕
(コード：4041、東証 1 部)
問合せ先 総 務 部 長 小沢 史比古
(TEL. 03-3245-6240)

飼料添加物メチオニンの販売終了に関するお知らせ

当社は、平成 21 年 10 月 30 日開催の取締役会において、平成 22 年 3 月 31 日をもって、飼料添加物メチオニンの販売を終了することについて決議いたしましたので、お知らせいたします。

1. 理由

必須アミノ酸の一種であるメチオニンは、養鶏・養豚向けとして世界中で使用されている飼料添加物であります。

当社のメチオニン事業は、昭和 42 年の生産開始以来、能力増強と合理化を図りながら成長・拡大してまいりましたが、海外での鳥インフルエンザ蔓延の影響や競合主要メーカーの一斉かつ大規模な生産能力増強による競争激化・価格下落により、平成 18 年 8 月をもって自社生産を停止し、以降は国内大手化学メーカーに生産を委託する方式で販売を継続しております。

最近におけるメチオニンの市場は、直近は概ね堅調に推移しておりますが、中・長期的には競合主要メーカーの増産計画が相次いで発表されており、当社の営業環境は今後厳しくなることが予想されます。

今般当社は、当初の生産委託契約期間の終了を控え、同事業の長期的営業戦略を検討いたしました結果、当期末をもって生産委託を解消し、同製品の販売を終了することといたしました。

なお、反すう動物向けのルーメンバイパスメチオニン「ラクテット」につきましては、販売を継続いたします。

2. 当該販売終了製品に係る経営成績

	売 上 高	営業利益	経常利益
平成 22 年 3 月期見通し	約 82 億円	約 10 億円	約 10 億円
平成 21 年 3 月期実績	約 111 億円	約 17 億円	約 17 億円

3. 日程

取締役会決議：平成 21 年 10 月 30 日

販売終了期日：平成 22 年 3 月 31 日

4. 今後の見通し

来期以降、「当該販売終了製品に係る経営成績」に相当する売上高及び利益の減少が見込まれます。なお、同製品の販売終了に伴う製造設備の廃却等の特別損失の計上はありません。

(参考) 当期連結業績見通し (平成 21 年 10 月 30 日公表分) 及び前期連結実績

	売 上 高	営業利益	経常利益	当期純利益
平成 22 年 3 月期見通し	131,000 百万円	3,600 百万円	9,100 百万円	6,400 百万円
平成 21 年 3 月期実績	151,021 百万円	5,782 百万円	11,995 百万円	6,751 百万円

以上